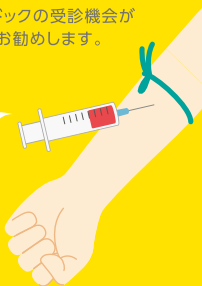


50歳になったら 前立腺がん検診を 受けはじめましょう*

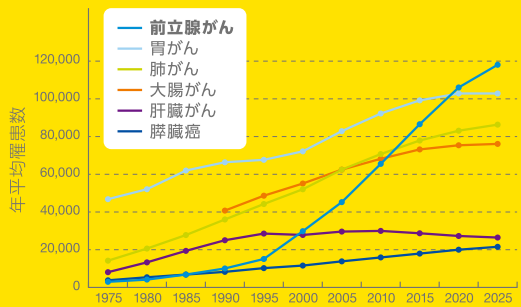
自分自身の健康のため、
そして大切な身近な人のために…

※親や兄弟に前立腺がんの人がいる場合や、人間ドックの受診機会がある方は、40歳代からの前立腺がん検診受診をお勧めします。

たった“1mL”の血液で
早期がんを発見できます!



男性がん罹患数の推移と将来予測



表示年から5年間 (がん・統計白書 2012、篠原出版社より)

前立腺がんは中高年男性に急増しており、
患者数、死亡者数ともに増え続けています。

2020年には、胃がん、肺がん、大腸がんを抜き、
男性がんの第1位になると予測されています。

【参考文献】
日本泌尿器科学会 2012年度版「前立腺癌診療のガイドライン」金原出版株式会社
がん・統計白書2012、篠原出版社



前立腺がん・前立腺がん検診のことなら、
下記医療機関・検診機関にお気軽にご相談ください。

医療機関名・検診機関名



アボット ジャパン株式会社 診断薬・機器事業部
〒108-6305 東京都港区三田3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館
TEL.03-4555-1111 <http://www.abbott.co.jp>
©Abbott Japan Co., Ltd.2013



201401009

臨床検査のススメ

前立腺がん

PSA検査



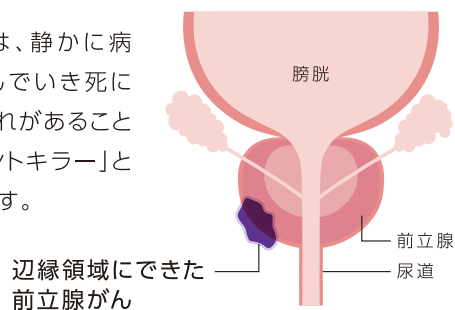
監修 | 群馬大学大学院医学系研究科 泌尿器科学 准教授
伊藤一人 先生

“サイレントキラー”前立腺がん

前立腺がんは尿道から離れている場所(辺縁領域)にできることが多く、ほとんどの場合、排尿に関する症状など、自覚症状がありません。

何らかの排尿症状がでてから、はじめて専門医を受診し、検査を受けて発見されたがんは、進行していることも多く、20～30%の患者さんは、すでにごがんは前立腺の周囲に広がり、他の臓器(主に骨)に転移した状態で発見されます。

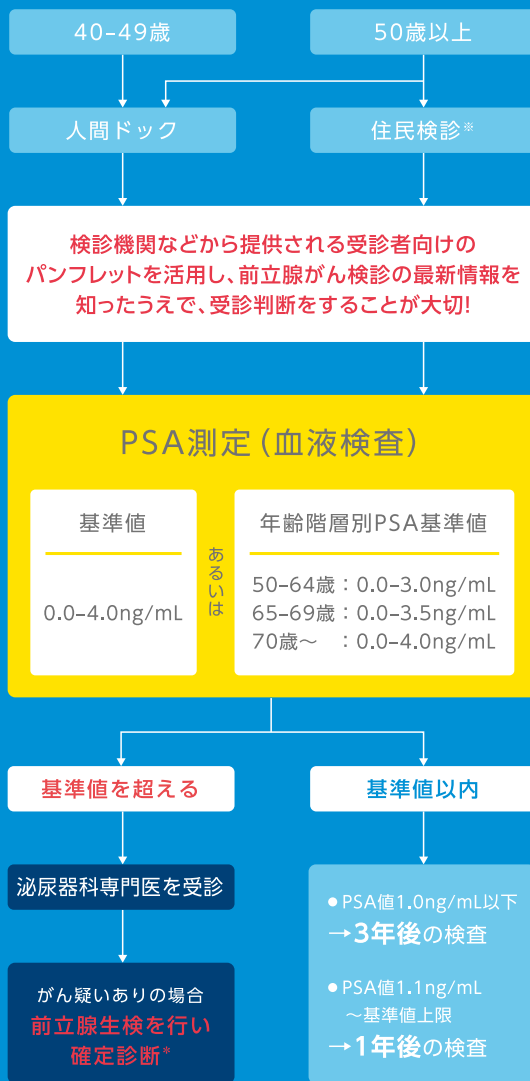
前立腺がんは、静かに病気が体を蝕んでいき死に至らせるおそれがあることから「サイレントキラー」と呼ばれています。



前立腺特異抗原(PSA)検査とは

- 血液中のPSA値が高いほど、前立腺がんの危険が高くなることわかっています
- 前立腺がんの80～90%が発見できる、非常に正確な血液検査です
- 前立腺の炎症や前立腺肥大症でもPSAの値が高くなる場合があります
- PSA検査をきちんと決められた年齢から、定期的に受けることで、前立腺がんが転移をする、あるいは前立腺がんを命をおとす危険が低くなります

前立腺がん検診の流れ

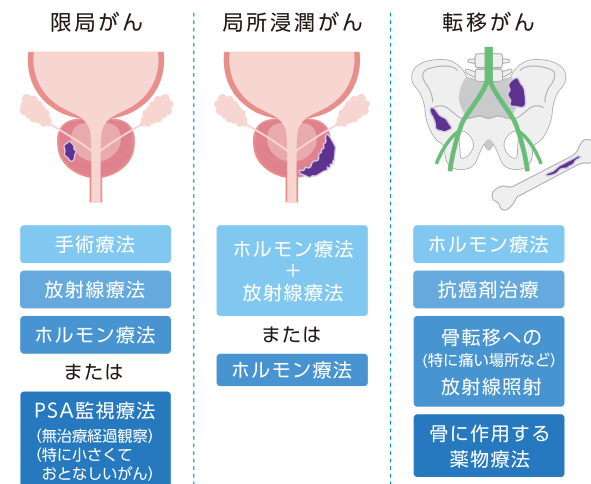


※約7割の自治体で、前立腺がん検診を実施しています。詳しくは市町村区の担当窓口にお尋ねください。

*専門医と相談の上、前立腺組織を採取する針生検の実施を決めます

PSA検査は前立腺がんの早期発見に有用

前立腺がんを早い段階で発見することができると、根治できる可能性が高くなり、また様々な治療オプションから自分自身に適した治療を選択できます。



PSA検診の利益と不利益

利益

- 血液検査のため簡便です
- がん診断の精度が、非常に優れています
- 転移がんに行進する危険が低くなります
- 前立腺がんが死亡するリスクが下がります
- PSA値が1ng/mL未満の低い人では、数年先まで前立腺がんにかかる危険は低く、安心感が得られます
- PSA値が基準値以内で、1ng/mL以上の場合には、毎年の検診受診をすれば、早期発見が可能で、転移や命を落とす危険が低くなります
- 早い段階でがんが発見できれば、効果が高く、しかも自分自身の価値観にあった治療法が選択できます

不利益

- 約10%のがんは、1回のPSA検査では見逃されます
- まれにPSAを作らないがんがあり、PSA検査では診断できません
- がん以外の良性の病気でもPSA検査が基準値を超えることがあります
- 前立腺生検の合併症として、血尿、直腸出血、感染症がおこることがあります
- PSA検診では、すぐに命に影響を与えない、おとなしいがんが発見されることがあります
- その様なおとなしいがんに対して治療を行った場合、合併症により、生活の質が低下することがあります